

User Manual



Foxit PDF Creator 3.0

For Windows

Foxit

Microsoft
GOLD CERTIFIED

Partner

©2010 Foxit Corporation. All Rights Reserved.

Copyright © 2010 Foxit Corporation. All Rights Reserved.

No part of this document can be reproduced, transferred, distributed or stored in any format without the prior written permission of Foxit.

Anti-Grain Geometry -Version 2.3

Copyright (C) 2002-2005 Maxim Shemanarev (<http://www.antigrain.com>)

Permission to copy, use, modify, sell and distribute this software is granted provided this copyright notice appears in all copies. This software is provided "as is" without express or implied warranty, and with no claim as to its suitability for any purpose.

目次

ソフトウェア使用許諾契約	4
PDF プリンタの概要	10
第一章 - 概要	11
メリット	12
機能	13
第二章 - インストール	14
動作環境	15
Foxit PDF Creator のインストール	16
導入後の変更点	21
Foxit PDF Creator のアンインストール	22
第三章 - PDF 作成時の設定	23
概要	24
一般	25
レイアウト	27
フォント	28
ドキュメント情報	30
透かし	31
ヘッダ/フッタ	33
セキュリティ	35
パスワードによる暗号化	35
パスワードによる暗号化の設定	35
パスワードセキュリティのオプション	35
証明書による暗号化	37
証明書による暗号化の設定	38
第四章 - Foxit PDF Creator の使い方	39
PDF ファイルを作成するには	40
PDF ファイルの作成例	41
Windows Notepad (メモ帳)	41
Microsoft Word	41
Microsoft Excel	42
Internet Explorer	42
Outlook Express	43
お問い合わせ	44

ソフトウェア使用許諾契約

本ソフトウェア使用許諾契約書（以下「本契約」といいます）は、株式会社 FoxitJapan（以下「当社」といいます）が米国法人である Foxit Corporation（以下「Foxit Corporation」といいます）が開発し、権利を有し、当社に使用許諾の権限を付与した本ソフトウェア（第 1.1 条に定義される）をご利用されるお客様と当社との間の法的な契約書です。お客様が本契約に記載された条件に同意する場合に限って、本ソフトウェアを使用する権利が許諾されます。お客様が本契約に記載された条件に同意されない場合、当社は本ソフトウェアをお客様に使用許諾いたしません。その場合、お客様は、本ソフトウェアをインストール又は使用（第 1.2 条に定義される）しないで下さい。

第 1 条（定義）

本契約において使用される用語の意義は、以下のとおりとする。

- 1.1 「本ソフトウェア」とは、①デスクトップ及びサーバ・ソフトウェア・アプリケーション用の PDF Viewer である Foxit J-Reader のコンピュータ・プログラム（ドライバーその他のモジュールを含む）（以下「本プログラム」といいます）並びに②説明資料及びサポート用文書（以下「ドキュメント」といいます）を意味します。当社がお客様に提供する本ソフトウェアのアップデート及びアップグレードも、別の使用許諾契約の対象とならない限り、本ソフトウェアに含まれるものとします。
- 1.2 「使用」とは、インストール、複製、ダウンロード、アクセスその他の方法で、本ソフトウェアを使用することを意味します。

第 2 条（使用権の許諾）

当社は、お客様に、本契約に記載された諸条件に従って、以下に記載する非独占的で譲渡不能な本ソフトウェアの日本国内における使用権を許諾します。

2.1 シングル・ユース永久ライセンス.

お客様は、1 人の使用者に対し、その者のみが使用する 1 台のコンピュータに本ソフトウェアをインストールすることを許可することができます。当社の書面による明確な同意がない限り、リモート・アクセスすることはできません。

2.2 シングル・ユース期間ライセンス.

使用期間を除き、上記シングル・ユース永久ライセンスと同じ条件となります。当初使用期間が満了した場合には、使用権が更新されている場合を除き、コンピュータから本ソフ

トウェアをアン・インストールしなければなりません。

第3条 (制限)

3.1 お客様は、適用される法により明示的に許される場合を除き、リバース・エンジニアリング、デコンパイル、ディスアSEMBルその他本ソフトウェアのソースコードの解読を試みることができません。お客様は、本ソフトウェアを貸与、リース、移転し又は第三者のために本ソフトウェアを運営・管理することができません。本ソフトウェアは、1つの統一された製品であり、その構成部分を複数のコンピュータで使用するために分離することができません。本ソフトウェアには無断複製を防ぐための技術的保護手段が講じられていることや本ソフトウェアのオリジナル・メディアを使用することが必要とされていることがあります。無断複製することや技術的保護手段を回避することは違法です。当社の事前の書面による許可のない限り、お客様又は第三者が本ソフトウェアを販売することはできません。本契約で明示的に許諾されたものを除き、本ソフトウェアに関する全ての権利は、**Foxit Corporation** に留保されています。

3.2 第三者のソフトウェア。

本ソフトウェアには、当社が正当にサブライセンス権を許諾された第三者のソフトウェアが含まれている場合があります。その場合、第三者のソフトウェアは、著作権その他の法律によって保護されます。

第4条 (サポート及びメンテナンス条項)

4.1 メンテナンス期間。

当社は、お客様に対し、本契約に記載された諸条件に従って、メンテナンス（以下に定義します）を提供します。但し、お客様が第 **3.4** 条に記載されたメンテナンス料を支払う場合に限りです。メンテナンス期間は、両当事者で書面により合意した場合を除き、本ソフトウェアの使用を開始した日から1年間（以下「当初サポート及びメンテナンス期間」といいます）で、その後1年毎に更新されます。メンテナンスの更新をしなかった場合、お客様は、継続しているサポート及びメンテナンス及び将来のバージョンの提供を受けるためには、新しいライセンスを購入する必要があります。

4.2 メンテナンス・サービス。

当社は、メンテナンス料の支払を条件に、本契約の期間中、お客様に対し、以下のサポート及びメンテナンス（以下併せて「メンテナンス」といいます）を提供します。

4.2.1 サポート

当社は、お客様に対し、本ソフトウェアの現行バージョンについて電子メール及びフ

ファクシミリによるサポートを提供します。お客様は、本ソフトウェアに関する質問又は問題点を、サポート用電子メールアドレス（support@foxitsoftware.com 又は fj@foxitsoftware.com）又はファクシミリ（03-6721-2020）により、当社に通知してください。当社は、速やかに、お客様の質問や問題点について調査します。お客様は、当社に対し、係る調査を援助するために及び全ての問題点が解決されたことを確認するために、十分な情報を提供することに同意します。当社は、回答期限を保証しませんが、当社の休日を除き24時間以内に電子メールかファクシミリで回答するよう誠実に努力します。

4.2.2 メンテナンス

当社は、お客様に対し、追加料金なしで、当社が一般的に利用できるようになった本ソフトウェアの改良版、アップグレード版または修正版を提供します。かかる改良版、アップグレード版及び修正版は、本契約上、本ソフトウェアの一部となるものとします。

4.2.3 お客様は、当社が本契約に基づき提供するメンテナンスが現行バージョン及びその直前のバージョンに限定されるものであることを認識し同意します。

4.3 免責.

当社がメンテナンスを提供する義務は、お客様が本ソフトウェアを適切に使用しかつ本契約を完全に遵守していることを条件とします。更に、当社は、以下のいずれかが原因でメンテナンスが必要になった場合、メンテナンスを提供する義務を負いません。

(a)お客様が本ソフトウェアの供されるシステム条件を超えて本ソフトウェアを操作した場合

(b)お客様又は第三者が本ソフトウェアを改変し又は改変しようとした場合

(c)当社が推奨した本ソフトウェアの変更を怠った又は拒絶した場合

4.4 対価.

当社が提供するメンテナンス・サービスの対価について、お客様は、当社又はその代理人に対し、請求書、受領書、購入注文書その他の注文書類に記載された当初サポート及びメンテナンス期間に対する料金（以下「メンテナンス料」といいます）を支払うものとします。お客様は、当初サポート期間終了時又はその後のサポート及びメンテナンス期間終了時に、翌年のメンテナンス・サービスへの参加を更新することができます。但し、お客様が(a)当社に支払うべき支払を全て行っていること、及び(b)その時に継続しているメンテナンス期間の満了の30日以上前にお客様が解約しない限り、当社又はその代理人に対しその時に継続しているメンテナンス期間終了前に当社又はその代理人が請求する更新後の料金を支払うことを条件とします。更新期間に対するメンテナンス料は、直前のメンテナンス期間に対するメンテナンス料に消費者物価指数を限度とするパーセンテージによ

る増額を加えた額とします。加えて、お客様が直前のメンテナンス期間満了後10日以内に当社に支払わなかった場合には、メンテナンスは、翌メンテナンス期間に継続されないものとします。

4.5 適用除外.

無償の本ソフトウェア又はβ版の本ソフトウェアについては、メンテナンス・サービス（第4.2条）及び免責（第4.3条）のみ適用されます。

第5条（支払条件）

本契約に明示された場合を除き、本契約に基づき支払われる料金その他の金員は、取り消しできず、かつ返還されないものとします。当事者間で別途合意しない限り、お客様は、請求書の日付から30日以内に、全ての料金その他の金員を支払うものとします。支払を遅延した場合には、未払額について支払期日から月1.5%の割合による遅延損害金を支払うものとします。お客様は、請求額に消費税を付加して支払うものとします。

第6条（データ使用の同意）

当社がお客様に対しメンテナンスを提供する場合、お客様は、本ソフトウェアに関するメンテナンス・サービスの一環として、当社又はその関連会社がお客様の提供する情報を収集し使用することに同意します。また、お客様は、本契約を締結することにより、当社がお客様の名前、メール・アドレスその他の情報を含め、お客様に関する個人情報（個人情報の保護に関する法律第2条第1項と同義）を収集し、保有することができることに同意することになります。当社は、お客様の個人情報を、本契約に基づく権利を行使し義務を履行するため、及びお客様との取引を適切かつ円滑に履行するために使用します。

第7条（知的財産権）

本ソフトウェア（お客様が作成したコピーを含む）に関するあらゆる権利、権原は、**Foxit Corporation** に帰属しています。本ソフトウェア（お客様が作成したコピーを含む）に関するあらゆる著作権、トレード・シークレット、特許、商標その他の知的財産権（申請、登録、更新する権利を含む）は、**Foxit Corporation** に帰属しています。本契約で明記されたものを除き、お客様は、本ソフトウェアの知的財産権を許諾されていません。

第8条（輸出規制）

お客様は、本ソフトウェアがアメリカ合衆国に起源するものであることを認めます。お客様は、日本国の輸出に関する法令その他の規制に加え、アメリカ合衆国の輸出に関する法

令その他の規制も遵守することに同意します。

第 9 条（無保証）

本ソフトウェアは、現状有姿で提供され、当社及び **Foxit Corporation** は、本ソフトウェアの使用又は性能に関し、いかなる保証もしません。当社及び **Foxit Corporation** は、本ソフトウェアを使用することにより得られる結果又はパフォーマンスに関し、いかなる保証もしません。当社及び **Foxit Corporation** は、明示又は黙示を問わず、法律上のものであると慣習その他のものであるとを問わず、第三者の権利の非侵害性、商品性、特定目的適合性を含む一切の保証、表明を明示的に放棄します。

第 10 条（責任の制限）

当社及び **Foxit Corporation** は、自己の故意又は重大な過失から生じた直接の結果として現実に生じた通常の損害に限り責任を負います。当社及び **Foxit Corporation** の本契約の履行に関する損害賠償の累計総額は、債務不履行、法律上の瑕疵担保責任、不当利得、不法行為その他請求原因如何にかかわらず、お客様が本契約に基づき当社に支払った金額又は金 1 万円のいずれか高い方を限度とします。なお、第 9 条及び第 10 条の規定は、法律で最大限認められる限度で適用されます。

第 11 条（解約等）

お客様は、当社が要求した場合、要求のあった日から 30 日以内に、お客様が要求のあった日時点で本契約に従って本ソフトウェアを使用していることを証明するに足る書類を当社に提出することに同意します。

お客様が、本契約に違反した場合、当社は、何らの催告をすることなく本契約を解約することができるものとします。

本契約が解約された場合、お客様は、本ソフトウェアの使用を直ちに止めるとともに、本ソフトウェアの全てのコピーを直ちに廃棄しなければなりません。加えて、お客様は、本ソフトウェアをインストールしたサーバ、コンピュータ及びターミナルから本ソフトウェアを消去しなければなりません。

本契約が終了した場合でも、第 7 条、第 9 条、第 10 条及び第 12 条の規定は、なおも有効に存続します。

第 12 条（一般条項）

本契約は、日本法に準拠し、日本法に従い解釈されます。法令に基づき又は裁判所の判断

により、本契約のいずれかの条項が執行不能又は無効とされる場合、かかる執行不能又は無効は、本契約を全体として執行不能又は無効とするものではなく、執行不能又は無効とされた条項は、法令又は裁判所の判断に矛盾しない範囲で、当該条項の目的を最大限達成するように変更及び解釈されるものとします。本契約のいかなる条項の修正も、書面により、かつ当社の権限あるものが署名又は記名押印しない限り、その効力を生じません。本契約に定めのない事項及び本契約の条項に疑義又は紛争が生じた場合、両当事者間で誠意を持って協議し解決を図るものとします。万一協議が調わず訴訟の必要が生じた場合、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

PDF プリンタの概要

PDF プリンタは、通常のプリンタと同じように動作します。インストールすると、PDF を生成する特殊なプリンタが表示され、プリンタのリストに追加されます。このプリンタを使用することで、PDF ファイルを生成することができます。PDF プリンタは Windows 上で動作するプリンタと同様に動作しますが、通常のプリンタとは大きく異なる点があります。生成した PDF ファイルを紙や他の素材に印刷する代わりに、作成した PDF ファイルをディスクに保存するのです。

現在、PDF ドキュメントを作成するには、いくつかの方法があります：

- 特定の PDF 作成ソフトを使用する（例えば Foxit Editor 等）
- PostScript をベースとしたファイルを PDF ファイルに変換する
- PDF プリンタを使用して、別のファイル形式から PDF ファイルを作成する

前述した二つの方法は、印刷可能なドキュメント（.doc、.xls、.ppt、images、text、Web ページ...等）を PDF プリンタで直接 PDF ファイルを作成することと比較すると、時間がかかってしまいます。

現在ソフトウェア市場では、PDF プリンタを使用して PDF ファイルを作成するツールが数多く流通しております。しかし、生成された PDF ファイルは一見、どれも同じように見えますが、各々大きく異なるものなのです。Foxit では、幾重にも渡るテストと比較検証をした結果、Foxit PDF Creator が PDF を作成するのに最適なツールであると確信しております。そして、多くのメリットと多彩な機能をユーザーの皆様にもご理解いただけたと考えております。

第一章 - 概要

Foxit PDF Creator はコンパクトで速く、そして手軽に印刷可能な Windows ドキュメント (DOC、XLS、PPT、TXT、E-MAIL や HTML できえも) を印刷操作だけで、標準的な PDF に変換作成します。ドキュメントの元のレイアウトを保持しつつ、秒単位での確に PDF ファイルを生成することが可能です。Foxit PDF Creator を使用することで、個人や企業を問わず誰にでも、幅広いハードウェアやソフトウェアの間で共有できる電子ドキュメントを簡単に作成することができます。

強力な検索機能と高性能な描画・処理能力を備えた Foxit PDF Creator は、Foxit Corporation の PDF コアテクノロジーをベースに設計されています。Windows XP/Vista/7 (32-Bit & 64-Bit)をサポートし、PDF 1.7 に対応しています。

この章では次のトピックスについて述べていきます：

- [メリット](#)
- [機能](#)

メリット

検索機能

多くの PostScript ドライバをベースとした PDF 作成ツールでは、文字のエンコード情報を付加せずに PDF を生成します。そのため、PDF ドキュメント内のテキスト検索ができません。すべての文字が見えているにも関わらず、テキスト検索を利用できないのです。Foxit PDF Creator はすべての文字のエンコード情報を保持しますので、テキスト検索、抽出ができ、そしてプレーンテキストに逆変換することも可能です。

効率的な表示と処理

多くの PDF 作成ツールは、その作成過程でテキストを個々の文字に分解します。このため、PDF ファイルの表示や処理においてパフォーマンスの問題が発生します。Foxit PDF Creator の場合、同様の表示属性のテキストを一緒にグループ化して処理するため、PDF ファイルの表示や処理のにおいて、パフォーマンスに優れています。

ファイルのサイズ

多くの PDF 作成ツールでは全部、または多くのフォントを PDF ファイルに埋め込みます。その結果、作成した PDF ファイルのサイズが大きくなってしまいます。Foxit PDF Creator ならば、多くのドキュメントにおいて、作成するファイルサイズを小さくすることが可能です。

スピード

多くの PDF 作成ツールは作成に二段階のプロセスを採ります:最初に PostScript 言語を出力します。そして次の段階として PDF に変換します。その工程において、しばしばドキュメントの情報ロスがあるだけでなく、時間もかかってしまうのです。Foxit PDF Creator は印刷可能なアプリケーションから直接 PDF を作成します。そのため、他の PDF 作成ツールを上回る速度を実現しているのです。

高い再現性

多くの PDF 作成ツールは Windows の表示機能である半透過画面の再現が完全ではなく、作成した PDF はオリジナルのドキュメントと一致しません。Foxit PDF Creator は Windows の表示機能をすべてサポートしていますので、作成する PDF は常にオリジナルのドキュメントと同様のものを作成することができるのです。

互換性

Foxit Reader の開発でよく知られていますが、Foxit Corporation は PDF テクノロジーにおいて大変定評がある企業です。この技術力によって、Foxit PDF Creator が作成する PDF ファイルは、他のあらゆる PDF ビューワにとっても、最適な結果をもたらすことができるのです。

機能

Foxit PDF Creator の主な機能は以下の通りです：

- 印刷可能なあらゆるドキュメント (DOC、XLS、PPT、HTML、EML、TXT、AutoCAD drawings、E-mail 等) を「Foxit PDF Printer」を選択し、印刷ボタンをマウスでクリックするだけで、簡単に検索機能に対応した PDF ファイルを作成することができます。
- 「Ctrl+F」での検索、「コピー&ペースト」のサポートはもちろん、プレーンテキストファイルへの変換 (Foxit J-Reader でテキストビューワを起動) 等、テキストから作成された PDF ファイルに対して、強力な検索機能を可能にします。
- 正確で効率的な PDF の表示と処理が可能です。
- Windows フォントの埋め込みをサポート。
- 2400 dpi までの画像解像度をサポート。
- 半透過モジュールのイメージをサポート。
- 多くのドキュメントにおいて PDF 作成時にファイルサイズをコンパクトにすることができます。
- 簡単な操作だけで PDF を作成することが可能で、時間もかかりません。
- 通常のプリンタと同じように用紙サイズの変更をサポートします。(Letter、Legal、A3、A4、A5、A6...等)
- Foxit PDF Printer での印刷の際は、自由にページの余白や向きを設定できます。
- インストールは簡単で、数分足らずで完了します。
- PDF 1.3 以降の仕様に準拠です。
- PDF/A-1b を標準サポートします。
- PDF ファイルの作成に、Ghostscript や他社の製品は一切必要ありません。
- 指定した格納先に自動的に PDF ファイルを出力します。
- パスワードと証明書によるセキュリティ機能をサポートします。

第二章 - インストール

この章では Foxit PDF Creator の動作環境とインストールについて説明します。

下記のトピックスについて述べていきます：

- [動作環境](#)
- [Foxit PDF Creator のインストール](#)
- [導入後の変更点](#)
- [Foxit PDF Creter のアンインストール](#)

動作環境

- Pentium II プロセッサ以降の CPU
- 32MB 以上のメモリ
- Windows XP / Vista / 7
- [Foxit J-Reader](#)があれば生成した PDF を確認することができます

Foxit PDF Creator のインストール

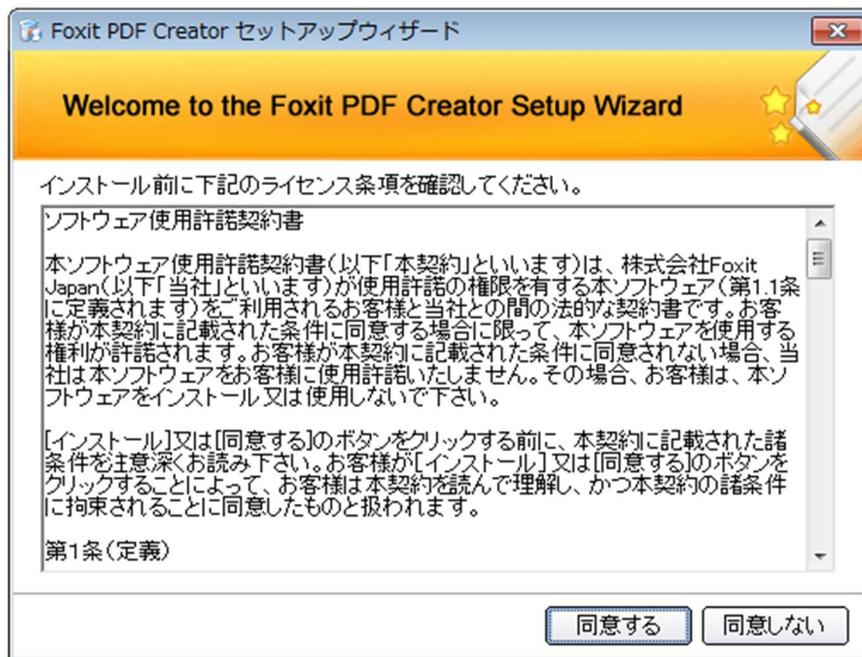
ソフトウェアをインストールする前に、管理者権限で Windows にログインしてください。Foxit PDF Creator は通常のプリンタのようにインストールされます。ご利用になるには、FoxitJapan の指定する Web サイトから「FoxitPDFCreator_jp_x32_Setup.exe」（64bit 版は「FoxitPDFCreator_jp_x64_Setup.exe」）という名前のセットアッププログラムをダウンロードし、ご使用の PC にインストールするだけです。

それでは、以下の手順に従ってインストールしてください：

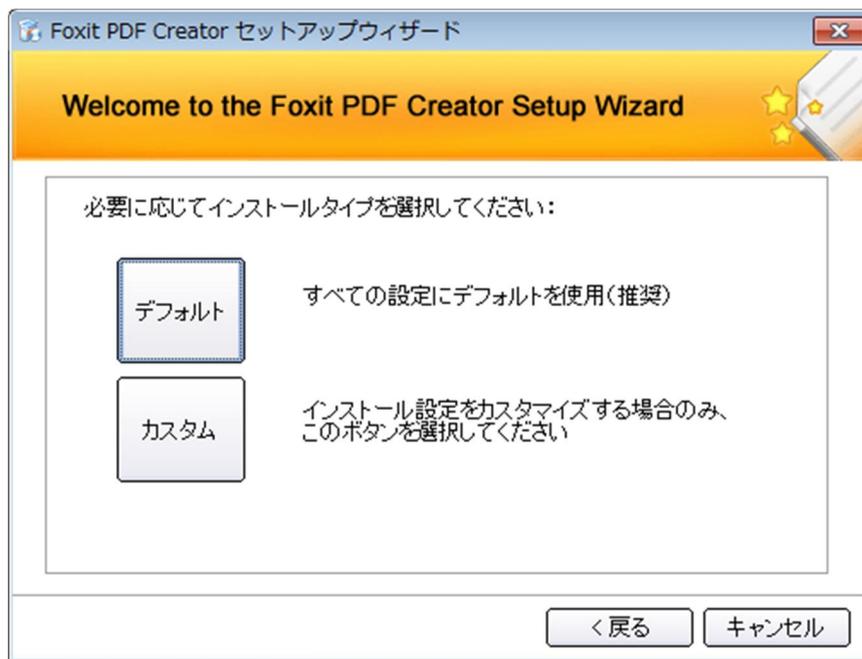
1. 「FoxitPDFCreator_jp_x32_Setup.exe」をダブルクリックすると、セットアップウィザードが起動します。[次へ] をクリックして進めてください。



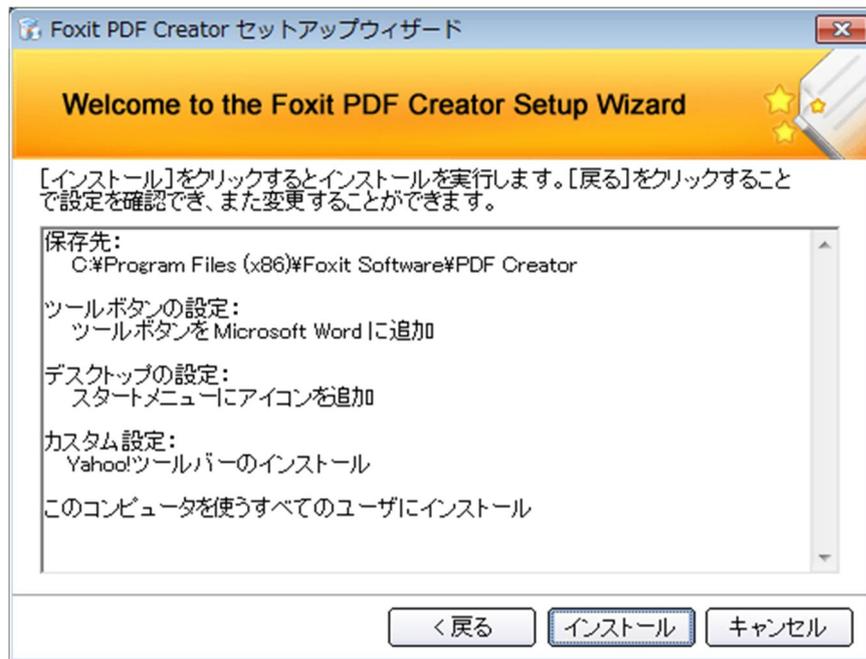
2. 提示されますソフトウェア使用許諾契約書をご確認ください。よろしければ [同意する] をクリックしてインストールを続けてください。



3. 2種類のインストール形式を選択する画面が開きますので、どちらか一方を選びボタンをクリックしてください。



4. 「デフォルト」を選択した場合、Foxit PDF Creator の既定項目の設定は完了します。通常はこちらをお選びください。



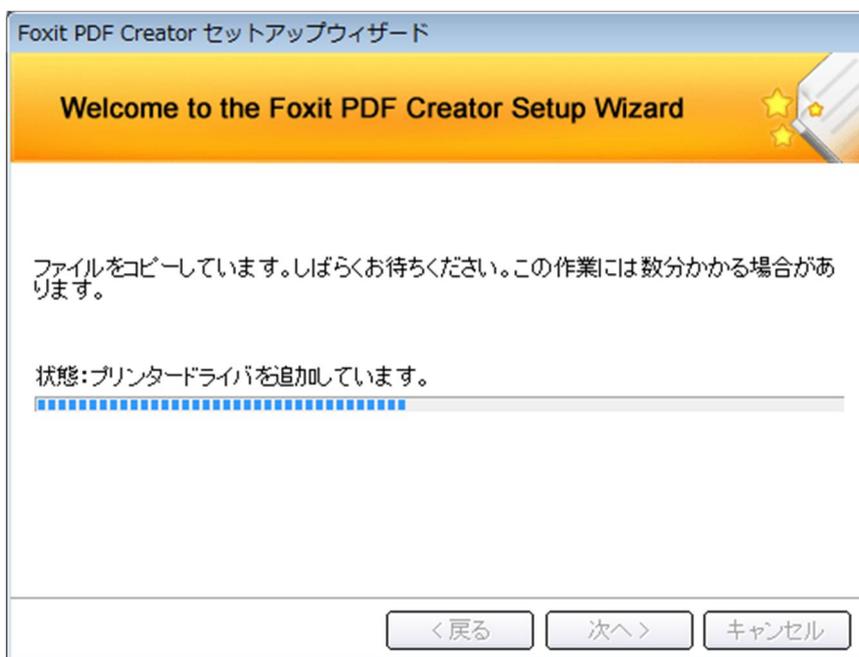
5. 「カスタム」を選択した場合、[参照...] をクリックしてインストール先を選択することができます。決定しましたら [次へ] をクリックしてください。



6. 設定：必要に応じて各チェック項目を決定し、[次へ] をクリックしてください。



7. インストール状況が表示されます。数分程度で終了します。



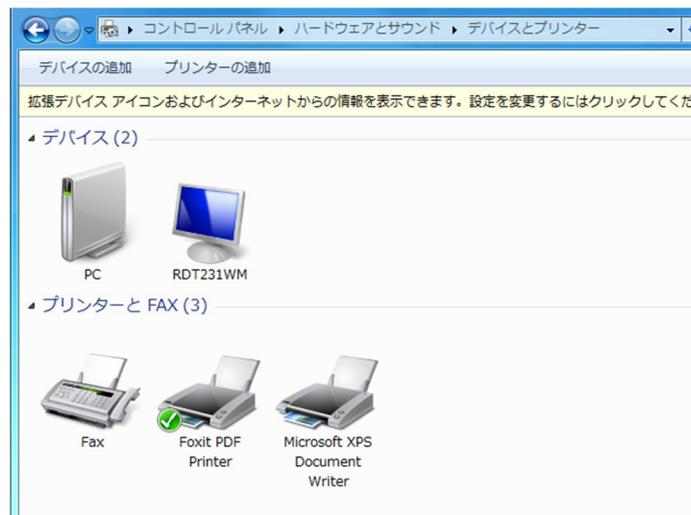
8. 最後にインストール完了の通知画面が表示されます。[完了] をクリックしてセットアップを終了してください。



導入後の変更点

Foxit PDF Creator のインストールは無事終了しました。では、Foxit PDF Creator の導入によるシステムの変更点を確認していきましょう。

- 「スタート」 > 「すべてのプログラム」を開くと、「Foxit PDF Creator」のフォルダとアンインストール用プログラムのショートカットができていることが確認できます。
- 「コントロールパネル」 > 「ハードウェアとサウンド」 > 「デバイスとプリンター」を開くと、Foxit PDF Creator が「Foxit PDF Printer」という名前で追加されています。下の画像をご参照ください。



- Microsoft Word を起動してください。ツールバーに Foxit PDF Creator のアイコンが追加されていることが確認できます。この Word 用アドオンは、Word ドキュメント上のハイパーリンクとブックマークを作成する PDF ファイルにも適用し、クリックで使用できるようにします。(Word 2003、Word 2007 のみ)



Microsoft Word 2003

Foxit PDF Creator のアンインストール

Foxit PDF Creator をアンインストールするには、以下のいずれかの方法を実行してください：

- ✓ Foxit PDF Creator をインストールしたフォルダ内の「uninstall.exe」をダブルクリックする。
- ✓ 「スタート」 > 「すべてのプログラム」 > 「Foxit PDF Creator」 > 「Uninstall」を選択。

ノート：アンインストールの際、Microsoft Word が起動していると、アドインボタンが削除されませんのでご注意ください。

第三章 - PDF 作成時の設定

この章ではプリンタのプロパティ設定による PDF ファイルのオプション設定についてご説明します。

この章では以下の項目を説明します：

- [概要](#)
- [一般](#)
- [レイアウト](#)
- [フォント](#)
- [ドキュメント情報](#)
- [透かし](#)
- [ヘッダ/フッタ](#)
- [セキュリティ](#)

概要

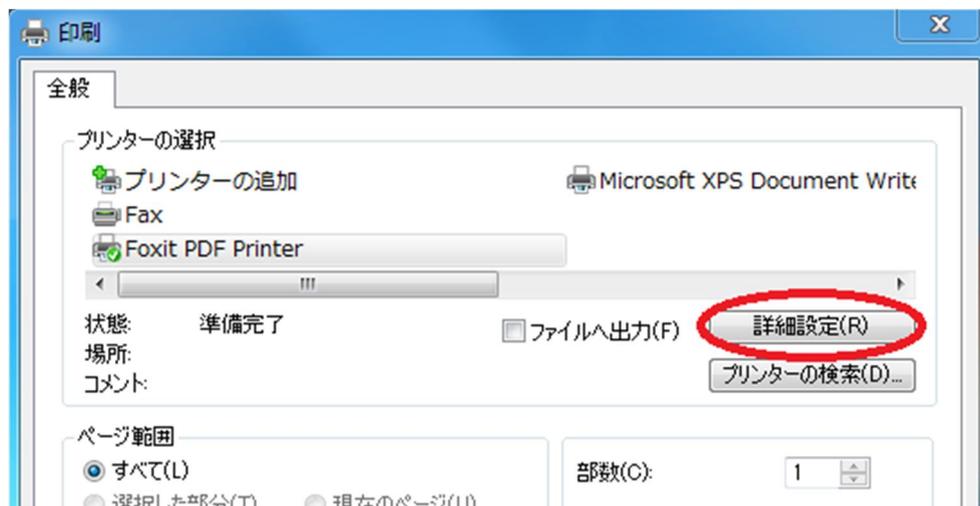
PDF ファイルを作成する前に、Foxit PDF Printer の印刷設定により、PDF ファイルのオプションを設定することができます。印刷設定をするには 2 つ簡単な方法があります：

Windows のメモ帳から PDF の印刷設定を行う

メモ帳の印刷機能で設定できます。「ファイル」>「印刷」>「詳細設定」から PDF のオプション設定が可能です。

Microsoft Office のドキュメントから PDF の印刷設定を行う

- Microsoft Office ドキュメントの印刷ダイアログから設定できます。「ファイル」>「印刷」>「プロパティ」を選択することで PDF のオプション設定が可能です。



一般

- **PDF ファイルの既定の保存先**

このオプションは、PDF ファイルを作成した時に保存するフォルダを指定することができます。

- **確認メッセージを表示せず既存の PDF ファイルを上書きする**

初期設定ではこのオプションはチェックされています。ファイルの上書きの前に確認メッセージが必要な場合は、このチェックを外してください。

- **既定のファイル名を使用して既定のフォルダに格納**

変更元のファイル名を変えたくない場合、このオプションをチェックすることで、指定したフォルダに自動的に名前をつけて PDF ファイルを保存することができます。

- **変換後に PDF ファイルを開く**

初期設定ではこのオプションはチェックされています。PDF ファイルを作成直後に自動的に開きます。

- **不可逆の方法で画像を圧縮**

このオプションを有効にすると、画像サイズを縮小することができますが、PDF 変換時の画質は下がります。初期設定ではチェックされています。

- **イメージ解像度**

このオプションを使用すると、DPI (dot per inch) 単位でイメージの解像度を設定できます。設定可能な範囲は 72 - 300 です。

- **PDF/A -1b 規格をサポート**

このオプションにより、長期保存に適した PDF ファイルの作成が可能です。このオプションを有効にすると、「ドキュメント情報」、「透かし」、「ヘッダ/フッタ」、「セキュリティ」タブが使用できなくなりますので、ご注意ください。

- **デフォルトとして保存**

現在選択しているオプション設定を以降のすべてのドキュメントに適用する場合、このオプションの設定をチェックしておいてください。チェックを外した場合、現在操作しているドキュメントに対してのみ、現在の設定が反映されることになります。



一般

レイアウト

- 用紙サイズ

このオプションにより用紙のサイズを選択できます。また、**カスタムサイズ**を選択すると、**ページサイズ**の設定からページの**幅**と**高さ**を設定することができます。

- レイアウトのプレビュー

用紙サイズのオプション設定により、どのように表示されるかを確認できます。

- ページサイズ

用紙サイズの一覧から**カスタムサイズ**を選択すると、このオプションがアクティブになります。そして**幅**と**高さ**を設定できるようになります。

- 単位

このオプションにより単位表記を変更することができます。インチ、センチメートル、ミリメートルがあります。

- 用紙の向き

このオプションにより、用紙の向きを縦、横に変更することができます。



レイアウト

フォント

- **すべてのフォントを埋め込む**

このオプションを選択した場合、埋め込みフォント一覧にあるフォントであるならば、すべて作成する PDF ドキュメントに埋め込まれます。閲覧者が使用しているコンピュータにフォントがインストールされていないために、PDF ファイルを読み取ることができないといった事態を避けるには、PDF を作成時に、すべてのフォントを埋め込む必要があります。

- **標準外のフォントを埋め込む**

このオプションを選択すると、ご使用のコンピュータにインストールされた標準外のフォントを PDF ドキュメントに埋め込むことができます。

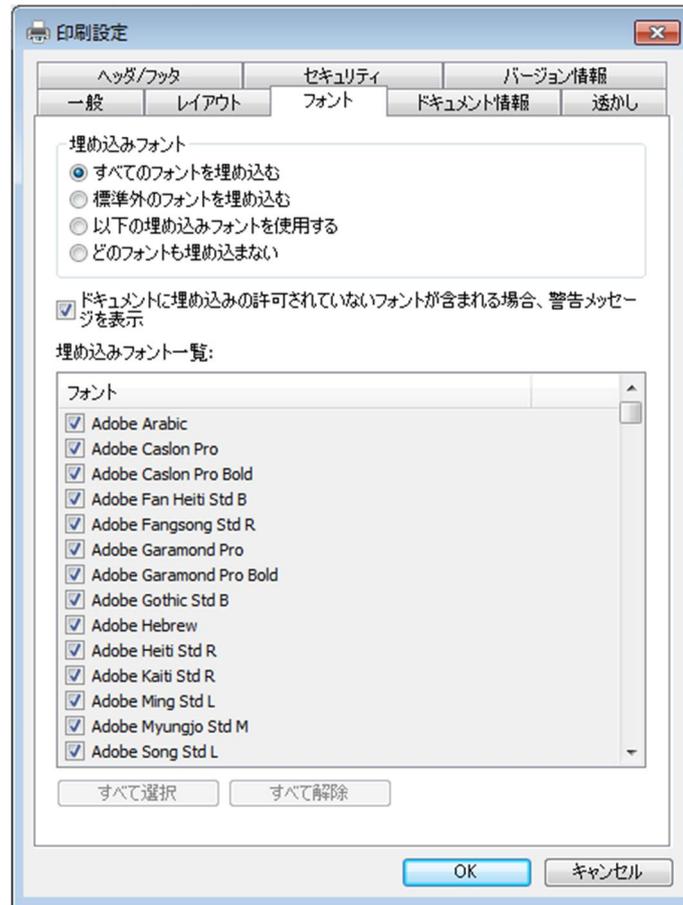
ノート：アジア言語等の Unicode ベースの言語を使用している場合、作成するドキュメントのサイズがかなり大きくなってしまいます。また、このオプションを選択すると、埋め込みフォント一覧のフォントは無効となります。

- **以下の埋め込みフォントを使用する**

このオプションを選択すると、埋め込みフォント一覧のフォントを使用可能です。PDF ファイルに埋め込みたいフォントを一覧からチェックボックスで選択することができます。

- **どのフォントも埋め込まない**

このオプションを選択すると、埋め込みフォント一覧のチェックボックスをすべて外した状態になります。この状態で作成した PDF ファイルの閲覧は、ご使用の OS にインストールされているフォントに依存します。

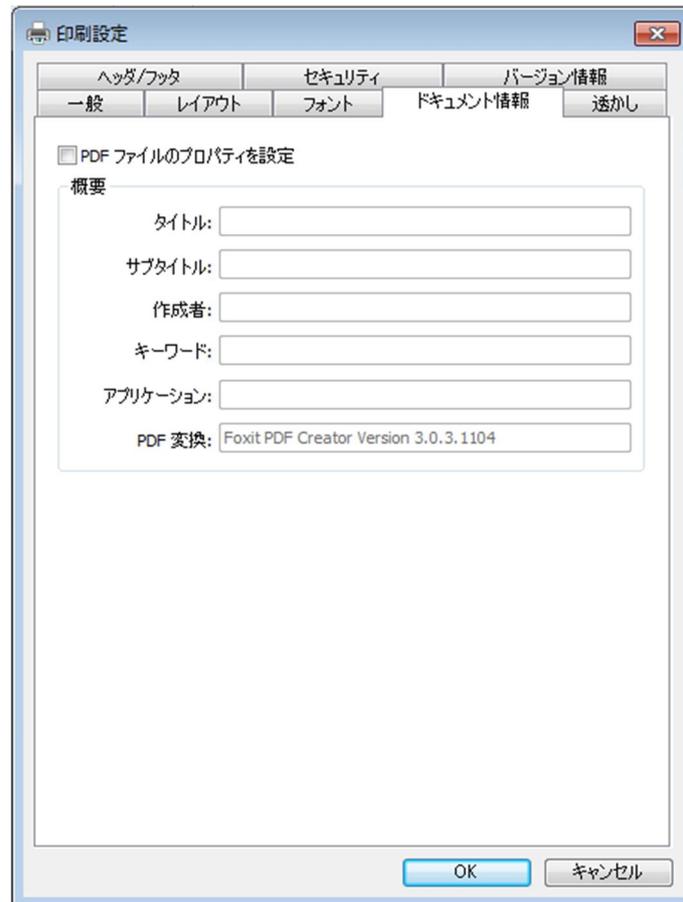


フォント

ドキュメント情報

- PDF ファイルのプロパティを設定

このオプションにチェックすることで、タイトル、サブタイトル、作成者等、PDF ドキュメントのプロパティを新たに設定することができます。



ドキュメント情報

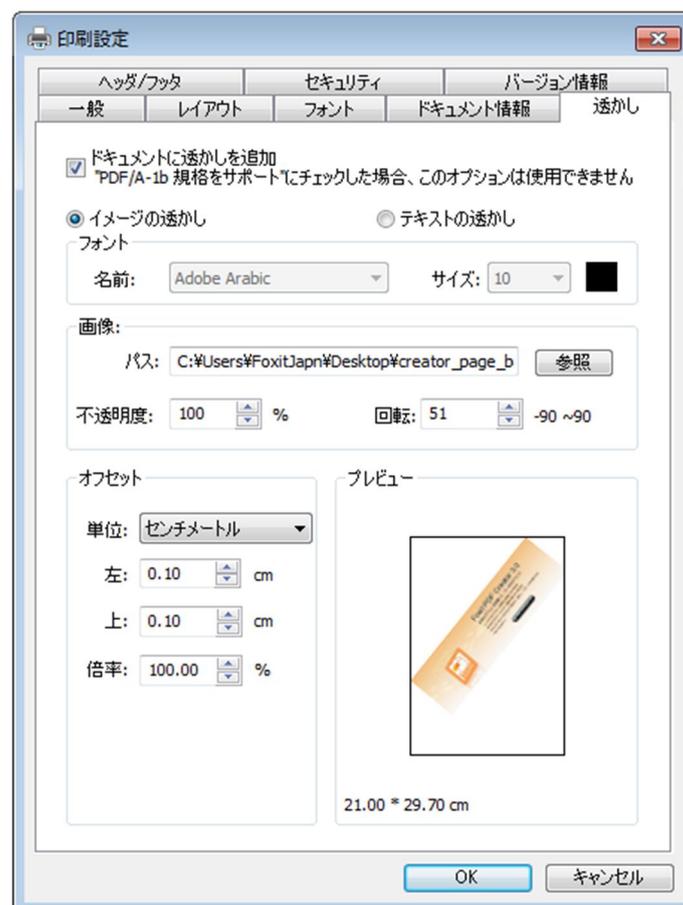
透かし

- ドキュメントに透かしを追加

ドキュメントに透かしを挿入したい場合は、このオプションをチェックし、**イメージの透かし**と**テキストの透かし**のいずれかを選択してください。

イメージの透かし

ご使用のコンピュータを参照して画像を選択し、**不透明度**、**回転**、そして**余白**を設定して、ドキュメントに透かしとして挿入します。



イメージの透かし

テキストの透かし

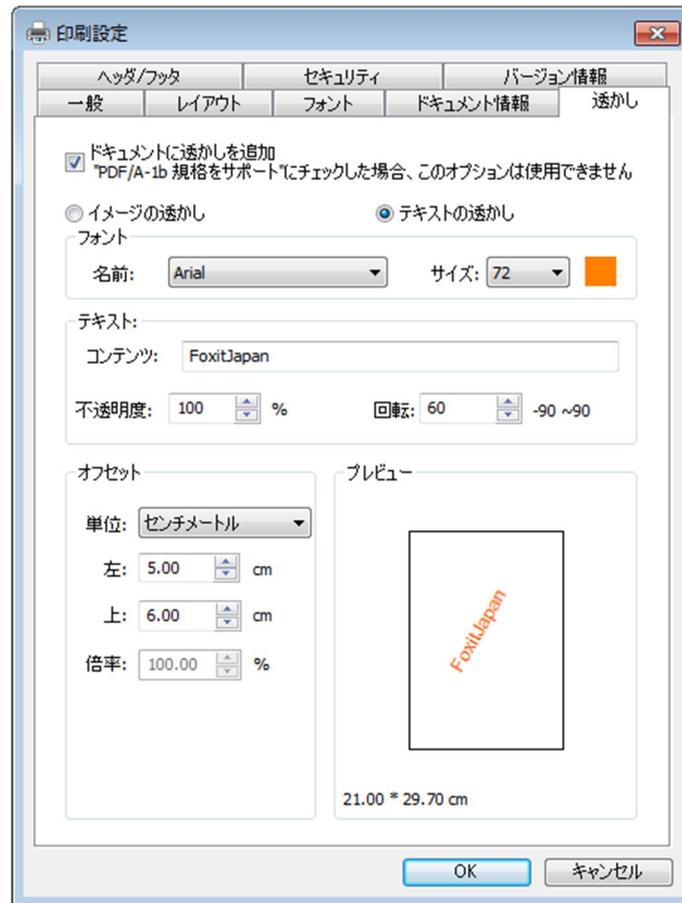
- フォント

このオプションにチェックを入れると、テキストの透かしを挿入できます。ドロップダウンメニューからフォント名とサイズ、そしてフォントのカラーを選択できます。

- テキスト

コンテンツボックスにテキストを入力し、**不透明度**と**回転**を設定することで、ドキュメ

ントにテキストの透かしを挿入することができます。



テキストの透かし

- オフセット

このオプションによって、測定単位とイメージやテキストの幅、高さを指定できます。

- プレビュー

選択したオプションによって透かしがどのように見えるか確認できます。

ヘッダ/フッタ

- **ドキュメントにヘッダとフッタを追加**

このオプションにより PDF ドキュメントにヘッダ/フッタを追加することができます。チェックすると、以下のオプションがアクティブになります。

- **フォント**

フォント名、サイズ、フォント色をボックスから選択することができます。

- **編集**

このオプションにより、ヘッダ/フッタの編集とスタイルの指定が可能です。

日付挿入をクリックすると、PDF ドキュメントに日付を挿入します。

ページ挿入をクリックすると、PDF ドキュメントにページ番号を挿入します。

必要ならば**左欄**、**中央欄**、**右欄**の各欄にテキストを入力できます。

- **オフセット**

このオプションは測定単位と上下左右の余白を設定することができます。

- **プレビュー**

選択したオプションによってヘッダ/フッタがどのように見えるか確認できます。



ヘッダ/フッタ

セキュリティ

PDF のセキュリティ機能によって、PDF ファイルに特殊な制御を施すことができます。PDF ファイル内の情報を十分に保護するため、暗号化と未承認アクセスからの保護、機密性の高い操作の制限等を設定することができます。セキュリティ機能は、商業コンテンツや機密文書に対して特に効果を発揮します。

パスワードによる暗号化

PDF ファイルに適用できるパスワードには 2 種類あります：ドキュメントオープンパスワードと制限パスワードです。ドキュメントオープンパスワードを設定した場合、その PDF ファイルを開くには、誰でも必ず設定されたパスワードを入力しなければなりません。制限パスワードを設定した場合、ドキュメントに設定された制限を変更するには、必ず制限パスワードを入力しなければなりません。もし PDF ファイルが両方のタイプのパスワードによって保護されている場合は、いずれか一方のパスワードでファイルを開くことは可能ですが、ドキュメントに設定された制限を変更できるのは制限パスワードだけですので、ご注意ください。

ノート：PDF ファイルに設定したパスワードを忘れてしまった場合、PDF からパスワードを取り出す方法はありません。パスワードによる暗号化を施していないバックアップを用意することをお勧めします。

パスワードによる暗号化の設定

1. 暗号化のタイプを選択してください > パスワードによる暗号化
2. ドキュメントのオープン時にパスワードを要求するにチェックを入れ、フィールドにパスワードを入力。制限パスワードを設定する場合は、ドキュメントに制限を追加にチェックを入れます。
3. ドキュメント制限の設定の項目では、ドキュメントプロパティに表示される制限の概要を設定できます。
4. 暗号化のアルゴリズムを選択します。
5. OK をクリックしてドキュメントを保存すれば、設定は有効になります。

パスワードセキュリティのオプション

PDF ファイルにパスワードとセキュリティを設定する場合、以下のセキュリティオプションを設定することができます：

パスワード

ドキュメントのオープン時にパスワードを要求する - 選択すると、ドキュメントを開くためには、設定されたパスワードの入力が必要になります。

- **オープンパスワード** - ドキュメントを開くのに必要なパスワードを設定します。

制限

ドキュメントに制限を追加 - PDF ファイルの印刷、編集等に制限を設けることができます。

- **印刷を許可** - PDF ドキュメントに対し、ユーザが許可する印刷レベルを設定します。
 - A. 低解像度 - 150-dpi 未満の解像度でのみ印刷を許可します。
 - B. 高解像度 - どのような解像度でも許可します。
- **変更を許可** - ドキュメント編集の許容範囲を設定します。
 - **フォームとサインフィールドへの入力** - ユーザはフォームへの記入が可能です。このオプションはフォームフィールドを作成できるという意味ではありません。
 - **コメント編集、フォーム、サインフィールドへの入力** - ユーザは PDF ドキュメントにコメント添付することが可能です。
 - **ページの挿入、削除、回転** - ブックマークの追加はもちろん、ページの挿入、回転、削除を許可します。
 - **ページの抽出を除き任意** - ページ内コンテンツの抽出を除き、ユーザは上記の項目を自由に編集することができます。
- **テキスト、イメージ等のコピーを可能にする** - PDF ドキュメント内のコンテンツの抽出を許可します。
- **視覚障害者のためのスクリーン・リーダーによるテキストへのアクセスを可能に** - 視覚障害を持つユーザが、スクリーンリーダーによる音声支援を利用して、作成された PDF ファイルのコンテンツに容易にアクセスできるようにします。

暗号化のアルゴリズム - 未承認ユーザからのハッキング対策として、データを暗号化します。Foxit PDF Creator は 128-bit AES と 128-bit ARC-FOUR をサポートしています。

メタデータを暗号化しない - PDF ファイルは暗号化しますが、メタデータに対しては、検索機能を利用できるようにします。



パスワードによる暗号化

証明書による暗号化

証明書による暗号化の優位性は、ドキュメント作成者が個々の閲覧者に対して、異なる個別の制限を設定することができる点です。例えば、作成者がある人にフォームの記入とコメントの添付を許可し、別の人にテキストの編集やページの削除を許可する、といった例が挙げられます。この証明書による暗号化によって、デスクトップ上のファイルや、**Windows** の証明書ストアから証明書を選択し、身元の確認が取れる特定のユーザのみを対象として、ドキュメントのアクセスを管理することができるのです。公開鍵とその他の識別情報を含む電子証明書は、ドキュメントの暗号化や、電子署名の検証に使用されます。証明書によって暗号化されたドキュメントを解読できるのは、それに対応する秘密鍵だけです。

一般論として、できることならばドキュメントの暗号化は、第三者機関によって発行された証明書を使用してください。もし証明書を紛失したり、盗まれたりした場合、発行機関はそれを差し替えることができます。もしも自己署名による証明書が削除されていた場合、その証明書によって暗号化されていたすべての **PDF** ファイルは、二度とアクセスすることができなくなってしまいます。

証明書による暗号化の設定

1. 暗号化のタイプを選択してください > 証明書による暗号化
2. ダイアログボックスに、暗号化するドキュメントの閲覧を承認するユーザのリストを作成します。承認するユーザ名を選択してドキュメントの制限を設定することができます。
 - インポートをクリックすると、Windows の証明書ストアから証明書をインポートします。
 - 参照をクリックすると、コンピュータを参照して証明書をインポートします。
 - 削除をクリックすると、レシピエントリストから削除します。
 - 詳細をクリックすると、証明書の詳細を確認することができます。
 - 制限の項目を設定することにより、選択したユーザのドキュメントへの制限を設定することができます。制限のオプション設定については、「[ドキュメントに制限を追加](#)」と「[パスワードセキュリティのオプション](#)」を参照してください。
3. 暗号化のアルゴリズムを選択します。
4. メタデータを暗号化しないチェックをすると、PDF ファイルのすべてのコンテンツを暗号化しますが、メタデータについては検索機能を利用可能にします。
5. OK をクリックしてドキュメントを保存します。



証明書による暗号化

第四章 – Foxit PDF Creator の使い方

この章では Foxit PDF Creator を使い始めるにあたっての、簡単なガイダンスを記載します。Foxit PDF Creator の起動方法や、オリジナルのドキュメントのレイアウトを保持しつつ、数秒間で的確な PDF ファイルを作成する方法について述べていきます。

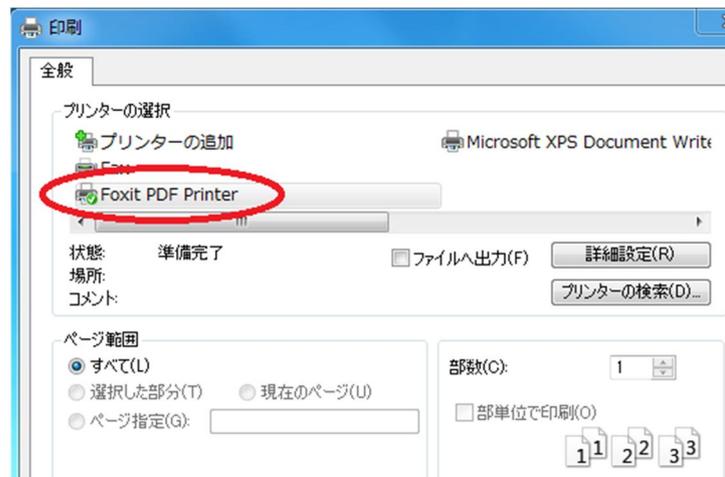
この章では以下の項目について説明します：

- [PDF ファイルを作成するには](#)
- [PDF ファイルの作成例](#)

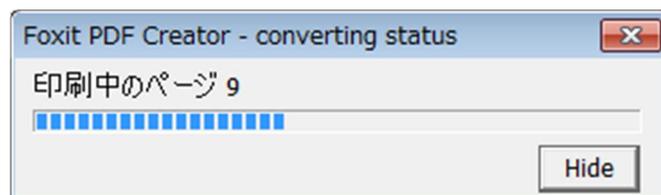
PDF ファイルを作成するには

Foxit PDF Creator は通常のプリンタと同じように動作します。そのため、Windows アプリケーションのファイルをプリンタで印刷する場合と同じように使用することができます。インストールすると、コントロールパネル内の「プリンターと FAX」の中に「Foxit PDF Pinter」という名称のプリンタを確認できます。

1. Microsoft Word、Excel、PowerPoint、Internet Explorer、AutoCAD、E-mail 等の Windows アプリケーションでドキュメントを開きます。
2. メインメニューの「ファイル」を開き > 「印刷」を実行します。
3. プリンタで **Foxit PDF Printer** を選択し、印刷（または **OK**）ボタンをクリックして印刷を実行します。



4. PDF ファイルの名称と保存先を指定するように要求されますので、ファイル名と保存先のフォルダを設定して、**保存**ボタンをクリックしてください。
5. 進行状況を表示する画面が表示され、作業が完了しますと自動的に PDF ファイルが開きます。



ノート : PDF ファイルを開くには「Foxit J-Reader」のような PDF ビューワプログラムが必要です。

PDF ファイルの作成例

Windows Notepad (メモ帳)

1. .txt ファイルを開きます。
2. メニューから「ファイル」 > 「印刷」を選択してください。

Microsoft Word

3. Microsoft Word を起動します。
4. .doc ファイルまたは.docx ファイルを開きます。
5. メニューから「ファイル」 > 「印刷」を選択。また、Word で設定したハイパーリンクと目次を維持するには、Word ツールバーのアドインボタンをクリックしてください。(Word 2003、2007 のみ)



Microsoft Word 2003

6. **Foxit PDF Printer** を選択します。
7. 印刷のプロパティを開くには、**プリンターのプロパティ** (または**プロパティ**) をクリックしてください。
8. **印刷** (または **OK**) をクリックします。
9. PDF ドキュメントのファイル名と保存先フォルダを要求されますので、**設定し、保存**をクリックします。
10. プロGRESSバーが表示され、作成が終了すると自動的に PDF ファイルが開きます。

Microsoft Word のハイパーリンクと目次をサポート

セットアップの際、設定で「Microsoft Word にアドインボタンを追加」を選択できます。アドインボタンは Word 2000 以降の機能です。このアドインボタンを使用すると Word ドキュメントのハイパーリンクと生成した目次を PDF に変換できます。

ノート :

- 「ファイル」 > 「印刷」 によって Foxit PDF Creator で PDF ファイルを作成した場合、Microsoft Word のハイパーリンクや目次を PDF に変換することはできません。
- Microsoft Word 2000 かそれ以降のバージョンを使用できない場合、Word のハイパーリンクや目次を PDF に変換することはできません。
- Foxit PDF Creator 自体は、ハイパーリンクも目次も生成しません。Word で作成されたハイパーリンクと目次を PDF に変換するだけです。ハイパーリンクと目次の作成方法につきましては、Word のヘルプ等をご参照ください。

Microsoft Excel

1. Microsoft Excel を起動します。
2. .xls ドキュメントを開きます。
3. メインメニューから、「ファイル」 > 「印刷」 を選択してください。
4. **Foxit PDF Printer** をプリンターに選択
5. プリンタのプロパティを設定する場合、**プリンターのプロパティ**（または**プロパティ**）をクリックしてください。（PDF 作成時の設定を参照）
6. **印刷**（または **OK**）をクリックしてください。
7. PDF ドキュメントのファイル名と保存先フォルダを要求されますので、設定して、**保存**をクリックします。
8. プログレスバーが表示され、完了すると PDF ファイルが自動的に開きます。

ノート：

一つの Excel ファイルにある複数のワークシートから、一つの PDF ファイルを作成するには、印刷ダイアログボックスで、**印刷対象**の中の**ブック全体**にチェックしてください。すべてのワークシートが一つの PDF ファイルとして生成されます。

Internet Explorer

1. Internet Explorer を起動してください
2. Web サイトや保存された Web ページを開きます。
3. メニューから「印刷」（または「ファイル」 > 「印刷」）を選択します。
4. プリンタの一覧から **Foxit PDF Printer** を選択します。
5. プリンタのプロパティを設定する場合、**詳細設定**（または**プロパティ**）をクリックしてください。（PDF 作成時の設定を参照）
6. **印刷**（または **OK**）をクリックしてください。

7. PDF ドキュメントのファイル名と保存先フォルダを要求されますので、設定して、**保存**をクリックします。
8. プログレスバーが表示され、完了すると PDF ファイルが自動的に開きます。

Outlook Express

1. Outlook Express を起動してください。
2. PDF を作成する電子メールの件名をクリックして開きます。
3. メニューから「ファイル」>「印刷」を選択します
4. プリンタの一覧から **Foxit PDF Printer** を選択します。
5. プリンタのプロパティを設定する場合は、**プロパティ**をクリックしてください。(PDF 作成時の設定を参照)
6. **OK** ボタンをクリックします
7. ダイアログがポップアップして、PDF ドキュメントのファイル名と保存先フォルダを要求されますので、設定して、**保存**をクリックします。
8. プログレスバーが表示され、完了すると PDF ファイルが自動的に開きます。

お問い合わせ

フリーソフトウェアである **Foxit PDF Creator** は原則としてサポートを行っておりません。ユーザー様ご自身の責任でご利用をお願い致します。

学校、企業等でのご利用につきましては、別途有償でのサポート（年単位）を提供しております。下記まで、ご相談ください。

- *Office Address:*

FoxitJapan

〒105-0022 港区海岸 1-2-20 汐留ビルディングプライベートオフィス 3F
日本

Website:

<http://www.foxitsoftware.com/japan/>

E-mail:

fj@foxitsoftware.com

FAX:

03-6721-2020

- *Office Address:*

Foxit Corporation

39819 Paseo Padre Parkway

Fremont CA 94538

USA

Mailing Address:

Foxit Corporation

39819 Paseo Padre Parkway

Fremont CA 94538

USA

Sales:

1-866-MYFOXIT or 1-866-693-6948 (8AM-5PM PST Monday - Friday)

510-438-9090 (8AM-5PM PST Monday - Friday)

408-307-9358 (8AM-5PM PST Monday - Friday)

Support:

1-866-MYFOXIT or 1-866-693-6948(24/7)

979-446-0280 (6AM-5PM PST Monday - Friday)

Fax:

510-405-9288

Website:

<http://www.foxitsoftware.com/>

E-mail:

Sales and Information - sales@foxitsoftware.com

Marketing Service - marketing@foxitsoftware.com

Technical Support - support@foxitsoftware.com

Website Questions - webmaster@foxitsoftware.com